

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)辻堂計画(B敷地駐車場棟)新築工事	階数	地上2F
建設地	藤沢市羽鳥一丁目153番外6筆	構造	S造
用途地域	第1種住居地域・準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2016年8月5日
敷地面積	2,550 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,173 m <sup>2</sup>	確認日	2016年8月5日
延床面積	2,304 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 92  
②建築物の取組み: 46  
③上記+②以外の: 46  
④上記+: 46

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 0.0  
Q2 サービス性能: 2.7  
Q3 室外環境(敷地内): 2.6  
LR1 エネルギー: 3.7  
LR2 資源・マテリアル: 2.3  
LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	・ 建物をマンション棟と同系色の色彩計画とし、また敷地外周に植栽帯を設けることで景観へ配慮する。	0
Q1 室内環境		Q3 室外環境(敷地内) ・ 自治体の景観計画区域基準に基づき色彩配置とする。
LR1 エネルギー	・ 建物外周部は手摺上部を開放とし、壁やサッシ等で囲まらず自然通風を行える計画とする。	LR3 敷地外環境 ・ A・B敷地合わせて駐車場を住戸数の70%、駐輪場を200%確保し、敷地外への駐輪や自動車利用の抑制に対して配慮した。
Q2 サービス性能	・ 主な設備機器(電灯分電盤、蛍光灯器具、電線類)の更新間隔を高くする。	
LR2 資源・マテリアル	・ 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される